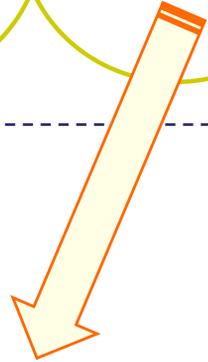
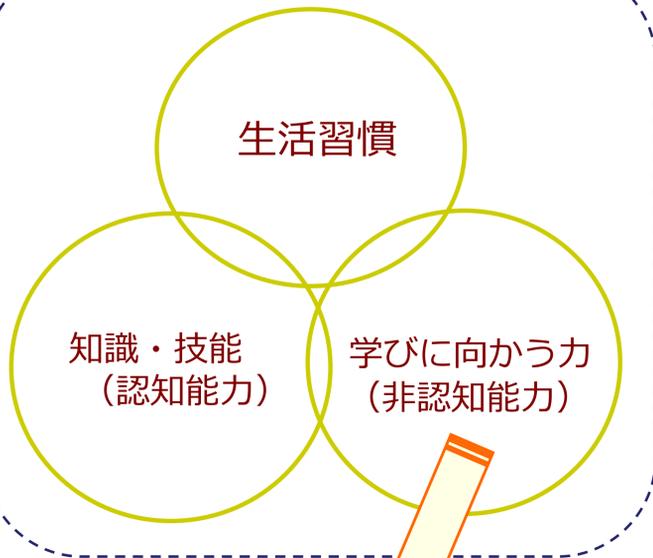


乳幼児期に身につけてほしい力



非認知能力

「もっと向上したい」と思える気持ちや能力

自信・楽観性

気持ちをコントロールする力



できるよ！

社会性

人と上手にコミュニケーションする力



はい、どうぞ！

忍耐力

最後までやり抜こうとする力



できるまでがんばる！

自ら考え判断して行動でき、心豊かにたくましく生きる子ども

国立市では、すべての子どもたちが、将来の夢に向かって成長できる力を身につけてもらいたいと考えています。そのためには、学力(認知能力)だけではなく、粘り強くやりとげようとする力、友だちと協力しあいながらがんばることで得られる共感やコミュニケーション力(非認知能力)を身につけることが大切であるといわれています。

その基礎として、乳幼児期からの保護者や特定の大人との間にしっかりと愛着関係を築くことが大切です。

乳幼児期にこうした「非認知能力」をのばすことが、将来の社会的成功に結びつく大きな力を与えます。

市では、このプロジェクト「ここすき！」を通して、子育て・子育てを応援する取組をはじめます。

国立市における幼児教育の取組

幼児教育推進プロジェクト “ここすき！”

関係機関等との懇談会、
合同研修、合同研究など

情報発信

すべての子どもたちに将来の力となる幼児教育をまちぐるみで考え子育て家庭へ発信します。

幼児教育子育てひろば

0歳～2歳の子どもを対象に遊びを通して、幼児教育を提供する機会をつくります。



次回は
食事、睡眠など生活についてご紹介します

発行

幼児教育推進プロジェクト ここすき！

国立市子ども家庭部児童青少年課保育・幼稚園係

国立市富士見台2-38-5 TEL575-3224中央児童館

監修

白梅学園大学 宮田まり子

ここすき！

国立市幼児教育推進プロジェクト

「ここすき」の“ここ”は家庭、保育所・幼稚園の場等、家族、友だち、ひと、物といった子どものそれぞれの環境をさします。自分のいる場、まわりの人や物をたくさん“好き”になって欲しいと願い「ここすき！」と名付けました。

子どもが不安に感じていると気づいたら、しっかり受け止め寄り添う



大人の関わり

子どものいろんな「好き」を見つける

子どもが頑張ろうとすることをサポート



国立市

子育て・子育て応援紙

0.1.2歳児の毎日 ～ 人もの場～ 編

保育所、幼稚園、地域の人々、いろいろな人に接することで、子どもの世界は広がります。子どもは、パパ、ママ、保護者や周囲の人など身近な人とのかかわりの中で信頼関係を築き、安心できることであそびに向かって行けます。

子どもは、実に豊かな可能性をもっています。大人がその可能性を引き出し、導くことでのびのび育ちます。人やものとの出会いや関わり、あそびが子どもの非認知能力を高め、大きく成長させていきます。

子どものこんな感情を大切にしたい！

“ほっ” (安心)

「おかあさんの笑顔が子どもの“あそびたい”を増やす」子どもが振り向いてお母さんの笑顔があると“OK”のサインをもらったようで子どもも安心してもっとあそびたくなります。



おかあさんがわらってる……。たのしいんだな。



“したい” (意欲)

子どもの一日はあそびが中心です。「おもしろそうだな」「やってみよう」・・・とあそぶ中で、発見や喜びがいっぱいあります。意欲的にあそぶことが将来の生きる意欲につながります。



これ、おもしろそうだな～。あっ、あそこにもある！いってみよっと♪



これはこ、うえにのるかな～ おおきいのでフタしちやお。

“おんなじ” (共感)

友だちのあそびに気づき、「おもしろそう！」と真似しては（おんなじだね）と顔を見合わせにっこり。友だちに関心を持ち、信頼関係を結ぶ第一歩です。



こっちのトラックもいっぱいこべるよ！

“じっくり” (夢中)

子どもは、自分の頭の中でいろんなことを考えながらあそぶので、興味をもったらじっくりと満足するまであそべるように、危ないことがない限り見守りましょう。

